

# 平成29年度京都府立大学地域貢献型特別研究(府大ACTR)一覧

## 【A分野】府域の課題に的確に対応し地域振興、産業・文化の発展等に貢献する調査・研究

	代表者		研究課題
	氏名	職名	
<b>文学部(2件)</b>			
A1	菱田哲郎	教授	京丹後市域の文化遺産の活用を通じた地域・学校連携の構築
A2	藤本仁文	准教授	「丹後の海」の歴史・文化に関する総合的研究－丹後東部を中心に－
<b>公共政策学部(2件)</b>			
A3	勝山 享	准教授	地域運営組織の形成に向けた住民自治と団体自治の関係性及び地域へのアプローチ方策の検証
A4	山野尚美	准教授	刑事施設出所者の地域社会での居場所づくりにおける更生保護施設の役割の検討
<b>生命環境科学研究科(15件)</b>			
A5	糟谷信彦	助教	早生樹の活用による森林資源の再造成・学校環境教育の実践
A6	久保中央	准教授	京都府産宇治茶の独自性・優位性を確保・発展させるための茶の優良形質に関する遺伝的・栽培生理的研究
A7	椎名 隆	教授	漆の科学・文化研究拠点化事業－京都の漆科学と漆文化の世界発信－
A8	伊達修一	講師	京都府立大学で育成した「洛いも」の精華町における特産農産物化に向けた安定生産および総合的な利用技術の開発
A9	辻 元人	講師	京のブランド野菜「花菜」の根こぶ病防除体系の確立に向けた調査研究
A10	中村貴子	講師	酒造原料米「京の輝き」による純米吟醸酒「なからぎ」とその副産物を利用した加工食品およびどぶろくの評価研究
A11	古田裕三	教授	ICTを活用した薪の地産知消型流通ネットワーク構築による地域経済とCO2削減効果の検証
A12	古田裕三	教授	京の竹工芸の科学によるブランド化と市場創生のための基礎的研究－放置竹林撲滅・地域活性化に向けて－
A13	細矢 憲	教授	地元産原料に根ざした黒谷和紙製品の機能化と多角化
A14	松井元子	教授	京都府産豆類を活用した新たな特産品の開発
A15	松田法子	講師	宮津市域の伝統的祭礼・芸能・文化に関する調査研究とその成果公開
A16	松原斎樹	教授	脱炭素化社会を実現する観点から見る大学生・小学生と地域住民の意識と行動の変容に関する調査研究
A17	美濃羽 靖	講師	ITデータを活用した森林管理手法の高度化・合理化に関する実証的研究
A18	宮藤久士	教授	木質ペレット燃却灰の有効利用方法に関する研究
A19	山川 肇	教授	食品ロス削減に向けた社会実験研究-精華町の実態を踏まえた効果的な施策に向けて
<b>京都和食文化研究センター(1件)</b>			
A20	上田純一	特任教授	「京料理」形成過程に関する歴史的考察
29年度ACTR合計			20件

※今年度は、B分野(文理融合や学際的研究等、時代の要請にあったテーマについて、地域に広く還元し、発信する調査・研究)の特別研究は行いません。